

《重点事業》

1	多文化共生の推進	担当課 秘書交流課
---	----------	--------------

事業概要

ね ら い	異なる文化や慣習を持つ人々の相互理解を深め、ともに安心して働き、暮らすことができる多文化共生社会の実現を目指す
概 要	・多文化共生に関する取り組みの推進 ・「（仮称）高山市多文化共生センター」の設置
主 対 象	在住外国人を含む市民

詳細・実施スキーム等

＜背景等＞

- ・少子高齢化や担い手不足を背景に、国が外国人労働者や外国人留学生受け入れのための制度の整備を進めたことなどにより、在住外国人が年々増加傾向にある。
- ・高山市においても在住外国人は令和6年6月現在で1,208人となり、令和2年に比べ316人（約26%）の増加となっている。
- ・市内の事業所においても人手不足が顕在化しており、外国人材の雇用に積極的に取り組む事業者も増えている。
- ・北海道東川町の日本語学校と連携した市内事業者とのマッチングや、外国人材を受け入れるための経費支援なども実施している。

↓

＜求められていること＞

異なる文化や慣習を認め合い共に生きる社会の構築

＜既存の主な取り組み＞

外国人相談窓口の設置、日本語講座の実施、SNSを活用した多文化共生に関する情報発信、やさしい日本語講座の実施、国際交流イベント等の実施など

＜今後の取り組み＞

○施策の方向性

- ・地域における円滑なコミュニケーションづくり
- ・外国人が活躍できる環境づくり
- ・子どもの教育環境づくり
- ・安全・安心に暮らせる環境づくり

在住外国人の日常の暮らしを支えるとともに、市民が多文化共生に関する理解を深めることができるように、「①相談」、「②学び」、「③交流」の3つの機能を有する施設を設置し、多文化共生施策の充実を図る。

①相談窓口：在住外国人が気軽に困りごとなどを相談でき、必要な情報を得られる場

②学びの場：日本語を学ぶことができるとともに、市民が異文化等を学ぶことができる場

③交流の場：市民と在住外国人が交流し、相互理解を

誰もが働きやすく暮らしやすい多文化共生社会の実現

相談 学 び 交 流

各分野での支援

子育て 教育 医療福祉 就労 住まい 防災

（仮称）高山市多文化共生センター
[在住外国人の相談・学び・交流の拠点]

参考：岐阜市多文化交流プラザ



事業業績評価指標（KPI）

指標	単位	当初値 (R5)	現状値 (R5)	目標値 (R11)
多文化共生関連行事等への参加者数	人	739	739	♪

事業規模

（単位：千円）

	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	計
計 画 額	3,364	4,580	4,980	5,350	15,350	33,624
事 業 費	3,364					3,364